

山本尚貴が 母校で特別授業

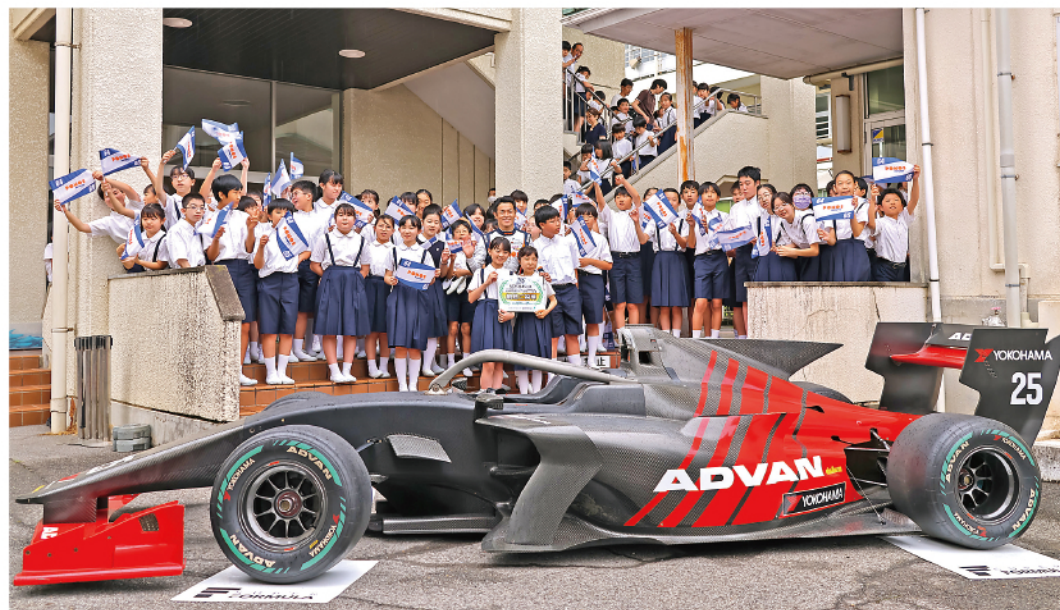
栃木県宇都宮市出身で作新学院高校の卒業生である山本尚貴は、7月11日に母校で特別授業を行ない、児童や生徒らに夢や目標を持つ大切さを伝えました。

この日はまず作新学院小学部で全校児童421名とその家族をモビリティリゾートもてぎで開催されるSUPER FORMULA第5戦へ招待することが発表され、代表児童に招待券が贈呈されました。山本はチームのフラッグを振る多くの児童たちに囲まれ、当日誕生日を迎えた山本に子供たちからお祝いのサプライズが行なわれるなど、会場全体が終始笑顔に包まれた時間となりました。

小学部への訪問は今年で3回目となり、今回は初めてSUPER FORMULAのマシンを持ち込み、その前での記念撮影も行なわれ、児童たちは間近で見るSFマシンに興

奮を隠せない様子でした。

続いて、高等学校の情報科学部 自動車整備士養成科を訪れた山本は、チームの浅見メカニックと共に、特別授業を行ないました。自動車整備士を目指す学生に向けて、浅見メカがレースメカニックになるきっかけを語るどころからスタートし、終盤には山本から「夢や目標に向かって頑張り、自動車業界を盛り上げて欲しい」とエールが送られました。なお、自動車整備士養成科の生徒約30名も第5戦に招待され、ピット見学などが予定されています。



山本尚貴選手 コメント

「今日はたくさんの笑顔とエネルギーを母校である作新学院でもらってきました。

今回で3回目となる小学部への訪問。さらに今回は新たに高等学校の自動車整備士養成科の生徒さんに授業をさせていただきました。今日の出来事をきっかけにそれぞれの目標や夢に向かってさらに頑張ってもらえたら嬉しいなと思います。そしてこの中から1人でも多くの生徒さんにモータースポーツの世界、車業界に関わる仕事に就いてもらえたり応援してもらえたらさらに嬉しいです。

この世界はレーシングカーを操りながら競争するという根底はこれからも変わらずとも、時代に合わせた進化と環境の改善がマシンや設備だけではなく、僕たち「人」が

働く業界の環境にも必要なことだと多くの関係者が今感じていると思います。

自分1人の力でなんとかなる話ではないですが、若い方がこの業界に興味を持ち長く携わってくださるような環境作りをみんなで目指していけたらなと思っています。」

浅見邦彦メカ コメント

「初めての経験でしたが、生徒のみなさんがとても熱心に耳を傾けてくれたこともあり、大変いい経験をさせていただきました。授業後も積極的に質問をしに来てくれて、夢に向かって進んでいる様子が自分への刺激にもなりました。今後もメカニックとして生徒さんたちに恥じない仕事をしたいと思います。」

